

◇ 廃棄寸前の NOTE PC に再度 ubuntu を入れてみた 大槻伸次

以前このコーナーで紹介した WindowsVista が入っていたノートパソコンに Linux 系の ubuntu16.04 LTS OS (某大学のサイトから iso ファイルをダウンロードして入手し DVD Decrypter で DVD 化。)を入れて立ち上げてみたが、ホームページの閲覧などは難なく行うことができたが、AbemaTV は静止画みたいなもので時々写っても画質がものすごく悪かった。

また、最後まで旨くいかなかったのは Libre office (ubuntu を入れると色んなアプリが付属してくる。Microsoft の office 交換とあるが、若干異なる。)の Writer の「かな入力」が何としてもできず、Wi-Fi 接続が NG (ドライバーが Linux に対応していない)になったことだろう。

このノートパソコンは Lenovo3000-C200 というビジネスパソコンで、仕様は CPU「セレロン 520M」(シングルコア・スレッド 1)、動作周波数 1.6Ghz、メモリー4GB、HDD 80GB、64bit。(以前、32bit と思っていたがインテルの仕様書で調べたら 64 ビットでした。)

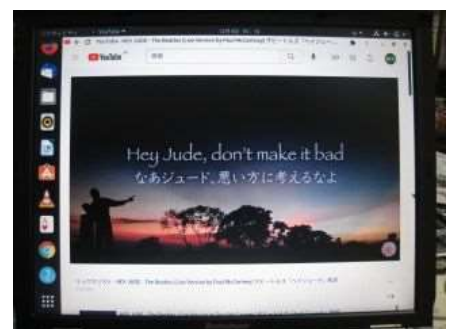
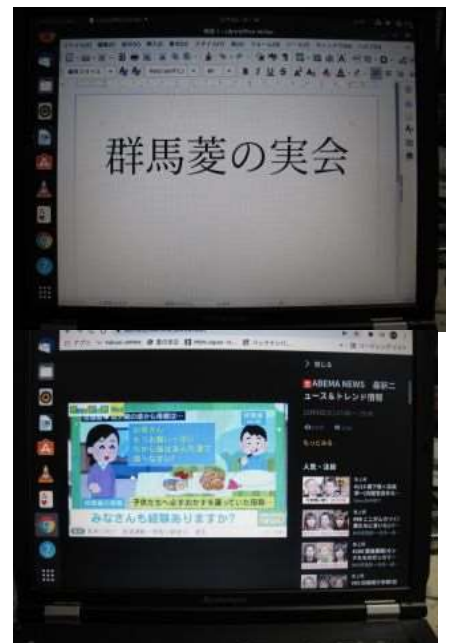
その後、本屋さんのパソコン雑誌のコーナーを覗いていたら、日経 BP 社のパソコン雑誌「Linux」2018 年 7 月号 (第 1 付録 ubuntu18.4LTS の使い方が全部わかる本、第 2 付録として「ubuntu18.04 LTS 日本語 Remix」の DVD-ROM が添付。)が、目にとまり迷わず購入しノートパソコンに入れ、アップデートしてみたところ問題なく導入できたように思えたが、なんとしても起動しないので旧の ubuntu16.04LTS に戻し、ubuntu の様子は解ったのでいずれノートパソコンは処分しようと考え、いじるのは止めてしまった。

その後、少しは益しのパソコンで立ち上げてみたいと思って中古品店にて「HP COMPAQ 6000 PRO」(MADE IN TOKYO とラベルが張ってあった。)を 2 千数百円の中古パソコンを買って試した。

■写真上・NotePc Lenovo3000-C200 の起動画面。

■写真中上・ Libre office の起動画面。 ■写真中下・ Abema Tv を受信中の画面。

■写真下・群馬菱の実会の 12 月ホームページ中(リクエスト)のヘイジュード youtube 動画再生画面。



仕様は、HP 社のビジネスパソコンで、CPU は CORE 2 DUO 64 ビット、メモリー4GB、21.5 吋フル HD 高精細スクリーンの一体型パソコンで ubuntu であれば問題なく動くと判断し購入した。そこで以前買っておいた「ubuntu18.LTS」を導入してみたところストレスなく動作し、さきのノートパソコンでは実用にならなかった動画の YouTube、Abema Tv、Tver 等も ストレスなく高精細で見られた。Libre Office の Writer (Microsoft office の Word 交換) については、ちゃんと、かなモードが動き何の問題もなく使えた。また、立ち上げ当初は有線 Lan に接続していたが、無線ラン (ドライバーが Linux に対応しているか疑問だった。) が使えるのか調べたところ何の問題もなく接続でき動作した。その後、ubuntu18.04LTS のアップデート版である ubuntu20.04LTS が日経 BP 社から雑誌の付録として発売されたので早速購入しアップデートした。(LTS 版は 5 年間アップデート保証されるのでそのまま使えるが、最新に興味がありで購入した。)



そして、昨年暮れの (2021 年) 大掃除で、以前 ubuntuOS を試したノートパソコンを引っ張り出し、捨てる前にもう一度新しいバージョンの ubuntu20.04LTS を入れ試したところ、なんと起動するまでの時間は要したが、なんと、何の問題もなく動作し、Libre office、youtube 他のアプリ等の閲覧もなんら問題なかったので驚いた。

しかし abema TV だけは動画コーデックが無いというメッセージが出て、静止画面のみで動画再生はアウトだった。そこで、どんな動画コーデック必要か調べていたら、バンドルされているブラウザである mozilla Firefox でなく Linux 版 Google Chrome であれば難なく見られるというコメントをみたので早速変えてみたら何の問題なく動作した (ubuntu16.04 でうまく動かなかったのはこれが原因だったかも)。

そこで、何世代も前 (Windows Vista) のノートパソコンに ubuntu20.04LTS 版を導入してみた感じは、起動までの時間はちょっと長く、動作はきびきびとはいかないが、ストレスはあまり感じず、充分実用に耐えると感じた。

そこで、以前ノートパソコンの ubuntu16.04LTS 版を ubuntu18.04LTS 版にアップデートした際、なぜ起動しなかったのか考察してみたら、パソコンのバッテリーがほぼアウト状態というのを知らずコンセントを抜いたままにしておいたため、完全な放電状態になってしまったようだ。その状態で電源を入れもしばらく起動しない事が判明した。そこでもう一度電源ボタンを押し直したところちゃんと起動する事が今回のテストで解った。このような現象から起動しないと早合点してしまったようだ。

こんな体験から、現在使用中のパソコンの Windows OS が 10 から 11 になるが、アップデートの条件が厳しく (我が家にある数台の Windows パソコンは 11 への update は全部アウト。)、そこで 2025 年 10 月のサポート終了後は廃棄パソコンが多発すると考えられる。そこで、その受け皿として無料の ubuntu (LTS 版は 5 年間のサポートがあるが、半年ごとにバージョンアップされる版もある。) は格好の代替え OS と考える。(2021/12/15 記)

■写真・HP COMPAQ 6000 PRO の ubuntu20.04LTS 起動画面。